

2024年度

地域研究コンソーシアム(JCAS) 年次集会 & 一般公開シンポジウム

2024年11月30日(土) 9:00~16:30

JCAS 年次集会

9:00~12:00

▶ 9:00 ~ 10:00

2024年度 JCAS 年次集会

▶ 10:00 ~ 12:00

JCAS 賞授賞式および
受賞記念講演

一般公開シンポジウム

13:30~16:30

地域研究の学術的貢献を 活かす制度を考える

地域研究の学術的貢献は何か。異なる学問分野への架橋、一般社会への学術成果の還元、定性・定量的分析の融合、個別的な地域課題の解決と普遍的な理論的貢献の往来、地域の課題の具現化など多岐にわたる。こうした地域研究の学術的貢献を活かすべく、たとえば学術会議における地域研究小委員会の設置や、科研費の大区分「地域研究」の設定など、日本における地域研究の制度整備は特に2000年代以降急速に進んだ。しかし同時期、地域研究のさまざまな特徴は他の学術分野にも浸透し、地域研究の専売特許ではなくなってきたように見える。また昨今、特に若手研究者に求められるのは英語論文の重視や短期間での研究成果である。本シンポジウムでは、地域研究の拡がりや学術動向の変化の中で、地域研究の学術的特徴を活かすための制度設計について考える。

プログラム

- | | | |
|-------|-------|---|
| 13:30 | 開会の挨拶 | 三重野 文晴 京都大学東南アジア地域研究研究所長 |
| 13:35 | 趣旨説明 | 柳澤雅之 京都大学東南アジア地域研究研究所 |
| 13:45 | 発表 | 岩下明裕 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
高倉浩樹 東北大学東北アジア研究センター長
宮原 堯 大阪大学大学院人文学研究科
山本博之 京都大学東南アジア地域研究研究所 |
| 14:45 | 休憩 | |
| 15:00 | コメント | 長縄宣博 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター長
岡田泰平 東京大学大学院総合文化研究科 |
| 15:30 | 総合討論 | |
| 16:30 | 閉会 | |

ハイブリッド形式

会場

京都大学東南アジア地域研究研究所
稲盛財団記念館 3F 大会議室

<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/access/>



オンライン Zoomによるハイブリッド



<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/95547520322?pwd=lzvwWR71qprSVYpPkfj7BHiQQz8dyw.1>

参加：無料
申込不要

※年次集会、JCAS 賞授賞式を含め
どなたでもご参加いただけます



JCAS WEB
アクセス
Zoom リンク



主 地域研究コンソーシアム (JCAS)
催 京都大学東南アジア地域研究研究所